

パラキャン 2024 年度事業報告書

～アンケート結果と事業視察について～

文責 坂光徹彦

【事業名】 障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動

【事業項目名】 みんなで一緒にパラスポーツ

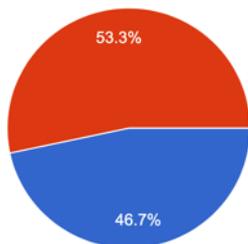
【目的】 専門性の有る人材による評価、有用性及び成果の検討

【方法】 事業開始時と実施後にアンケート調査を実施

【結果】 回答数：事業開始時 15 名、事業実施後児童 5 名、保護者 6 名

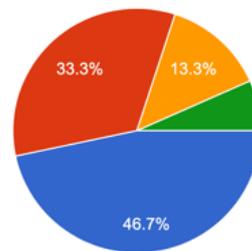
1. 事業開始時(2024 年 5 月 17 日)

性別



● 男
● 女
● 答えたくない

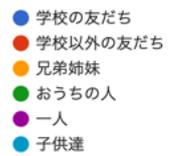
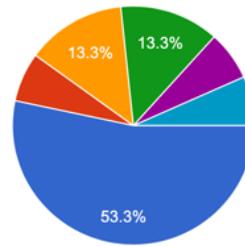
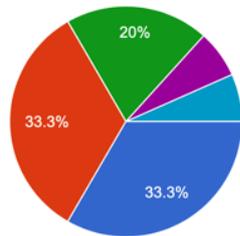
誰と来ましたか？



● おうちの人
● 兄弟姉妹
● 友だち
● 子供達

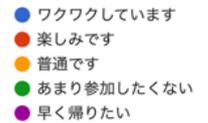
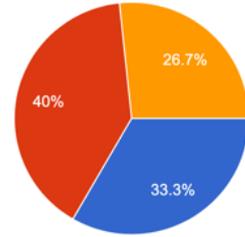
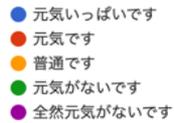
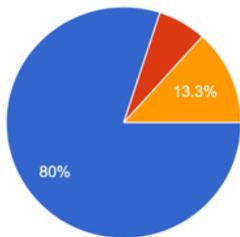
パラキャンをどこで知りましたか？

普段は誰と良く遊びますか？

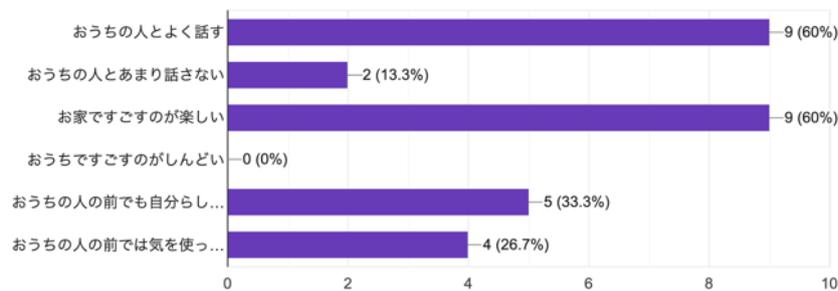


身体の調子はどうですか？

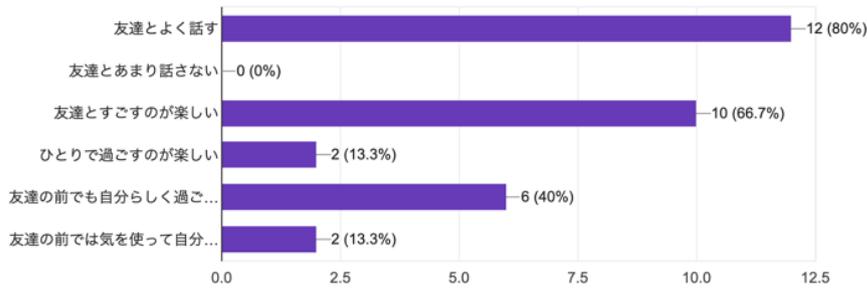
今の気持ちはどうですか？



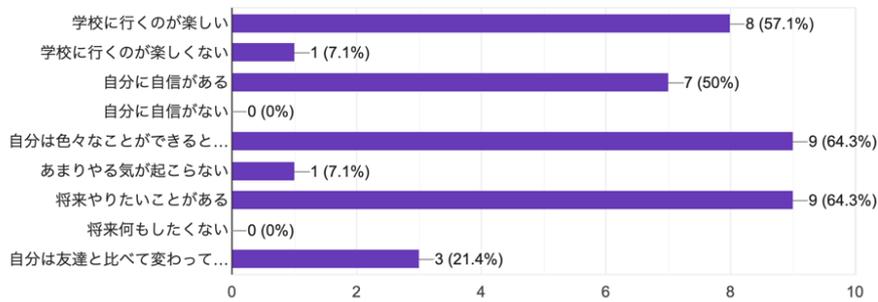
おうちでの自分について



友達の前での自分について

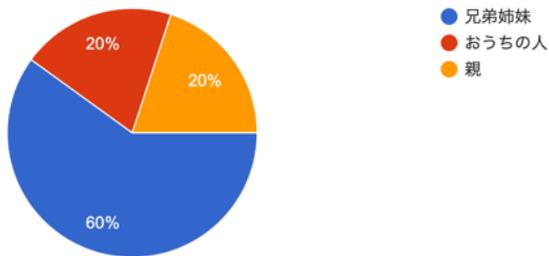


あなたの状態について



2. 事業実施後(2025年〇月〇日)

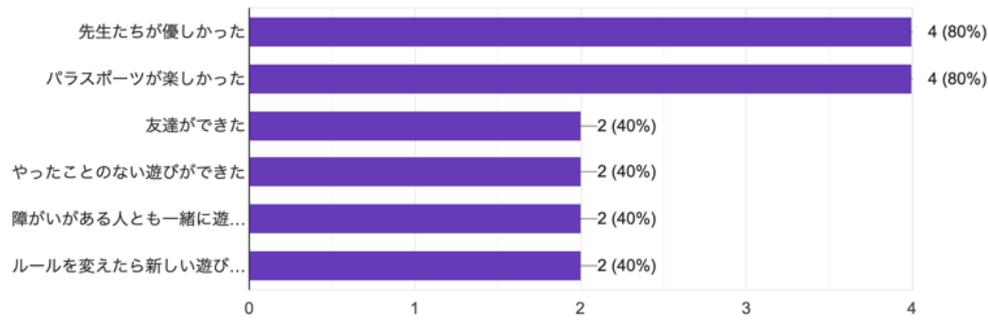
誰と来ましたか？(児童)



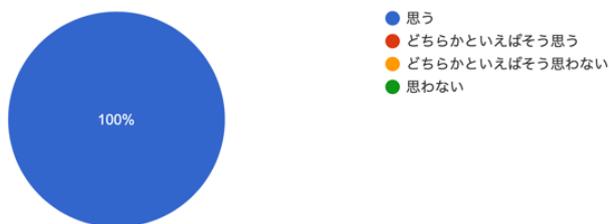
この教室に参加してどうでしたか？(児童)



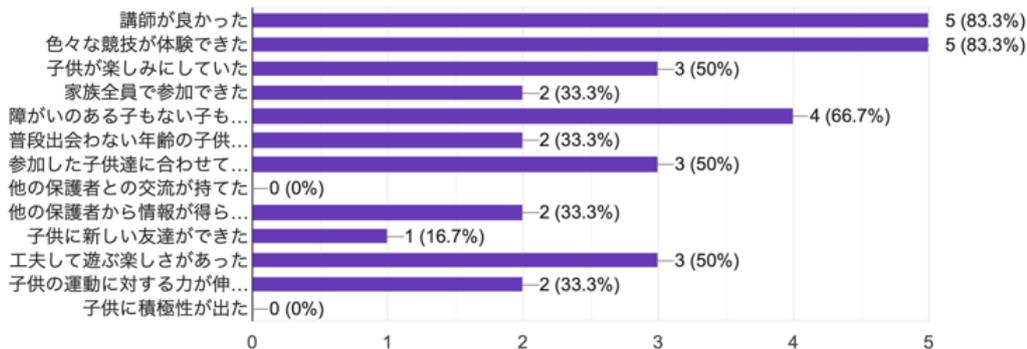
この教室のよかったと思う点(児童)



子供さんを参加させてよかったか？(保護者)



この事業の良かったと思う点(保護者)



【考察】

事業自体の主な目的として、健常者と障がい者の垣根を超えた交流の場を提供すること、それにより障がい者の他者との交流に対する障壁をなくしていこうとする活動をスポーツをきっかけに実施することであった。事業開始前の参加者についてはご家族(保護者)による紹介やご家族と一緒に

来られた対象者が多い結果となっているが、事業終了時には兄弟姉妹と来られる対象者が多くなっていた。普段よく遊ぶのは誰かという質問に対しては学校の友達という回答が多く、同年代の子供達のコミュニティは大切であることが伺える。その点で障がい者の同年代の子供たちと積極的に交わる機会を提供できていることは児童からの感想や保護者からの感想からも伺えるように友達ができたり普段出会わない年齢の子供達と交流できたことは有意義であったと考える。また、保護者の感想の中に他の保護者との交流や情報共有の場としても良い機会であったことは障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動の一環として重要な機会であったと言える。